

災害に関するお知らせ

米の放射性物質調査

平成23年産米の安全性を確認するための調査方法が国より示され、県による米の放射性物質調査が実施されています。

調査は、昭和25年時の旧市町村の区域を単位として行われ、米の収穫前の予備調査と収穫後の本調査の二段階で行われます。

全ての調査結果が判明するまで、出荷や販売・譲渡・贈答ができません。

調査結果については、判明次第、災害対策本部情報等でお知らせします。

◎問い合わせ:

農政課農産振興係

☎(55)51117

東日本大震災・原発放射性能被害対策

二本松市民総決起大会

ご覧いただけます。

8月28日、二本松市民会館を会場に市民約1,200人が参加し、放射能対策などを求める市民総決起大会が開催されました。

この大会は、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射能被害の共通理解を深め、市民の健康と安全・安心な生活を守るために市民が一つになり、今後の復興に向けて思いを結集し、広くアピールするために開催され、農業や観光業、子どもを持つ親などの代表ら8人が被害状況を訴え、政府への提言を発表しました。

また、大会では、福島第一原発事故の早期の収束と補償体制の確立を求める決議文を採択し、国の原子力災害対策本部の関係者等に要望書として手渡されました。

※決議文は、9月12日発行の災害対策本部情報(第15号)へ全文掲載しています。また、市ホームページからも



現状報告および提言

■農業者代表

酪農家 佐藤一之さん



本来買う必要のない飼料を、今は外国から輸入し与え、毎日酪農業をやればやるほど、赤字です！このままでは、夢も希望も、生きるすべさえない！国や東電の早急な対応を強く訴えます！

■観光業者代表

岳温泉花かんざし

二瓶明子さん



3月・4月の予約キャンセルはほぼ100%。8月以降の予約は三分の一程度です。観光地復興に向けて私達が戦うべきは放射能による風評被害。ぜひとも、国として県として誠意をもって風評被害の払拭に全力を挙げて欲しいと思います。

■子育てグループ代表

子育てグループこころ

村松香里さん



幼稚園では、園庭で遊ぶこともできない日々。いろいろな理由で避難したくてもできない人もたくさんいます。せめて週末は線量が低い所にと、県外などに出かけて子どもを

遊ばせています。これらに對して何の補償もありません。

私達は、原発事故の被害者です。「ただちに健康被害はない」と言われても安心できません。国や県は本当に未来ある子ども達を守ろうとしているのでしょうか？

私達の願いは、二本松そして福島が震災以前のように放射線を気にせず、安心して暮らし、子育てができる日々を取り戻すことです。

このほか、次の方々から発表がありました。

■農業者代表

肉牛農家 佐久間寿一さん

■商工業者代表

(株)CKF 藤田新一さん

■PTA代表

PTA連合会 熊谷安弘さん

■区長会代表

市区長会 吉野正昭さん

■女性団体代表

油井婦人会 小泉マサさん

かんぱうふ
二本松

親と子で考える放射線学習会を開催

放射線に関する子どもの健康管理をテーマに、子どもの生活全般に関する生活の工夫について健康学習会を各保健センター等で開催します。参加を希望される方はお申し込みください。

日 時

場 所	二本松福祉センター	安達保健福祉センター ※11/20は安達公民館	岩代保健センター	東和保健センター ※11/20は東和文化センター
放射線低線量被ばくの影響などについて	10月2日(日) 13:15~15:30	10月23日(日) 13:15~15:30	10月24日(月) 13:15~15:30	9月27日に開催しています。
食の安全を守るためにできること	11月12日(土) 13:15~15:30	11月27日(日) 13:15~15:30	10月13日(木) 13:15~15:30	10月4日(火) 13:15~15:30
親子ふれあい体操 1・2・3	11月21日(月) 9:45~12:00 (3歳未満児対象)	11月20日(日) 9:45~12:00 (3歳未満児対象)	11月21日(月) 13:15~15:30 (3歳児以上対象)	11月20日(日) 13:15~15:30 (3歳児以上対象)
子どもの心のケアのために	12月5日(月) 13:15~15:30	12月4日(日) 9:45~12:00	12月4日(日) 13:15~15:30	11月28日(月) 13:15~15:30

※できる限り4つのテーマ全てを受講ください。テーマ毎に受講会場を変更することも可能です。

※テーマ毎の参加も可能ですが、空きがあった場合のみとなりますのでご注意ください。

内 容

「放射線低線量被ばくの影響などについて」 講師：「市民科学者」育成を目的とした「高木学校」の医師等・健康への影響、生活面での工夫などについて学びます。

「食の安全を守るためにできること」 講師：幅広い食品安全に関わるフリージャーナリスト天笠啓祐氏・食事による内部被ばくを抑えるための方法、放射線の問題の影に隠れた食の問題を学びます。

「親子ふれあい体操1・2・3」 財団法人児童育成協会「こどもの城」との共催事業・子どもの成長に合わせた親子での室内遊びの体験。親子でリフレッシュ！

「子どもの心のケアのために」 講師：「あざみの心理オフィス」の臨床心理士・子どもの心のケアや大人の心のケアについて学びます。

対 象 就学前の子どもの保護者、各会場30人程度(希望者多数の場合は先着順)

※受講後、友人やサークル等での伝達にご協力ください。※市民以外の方はご相談ください。

申込方法 電話またはファックスで下記までお申し込みください。

希望日、参加者と子どもの氏名、住所、電話番号、託児の有無、生年月日をお知らせください。

申込期限 開催日の1週間前まで **その他** 無料託児を行います。(各会場10人程度、先着順)

◎問い合わせ・申し込み…健康増進課保健係(55)5110 Fax(23)1714

繁栄 希望
喜びに充ちた
二本松

市長からの手紙
三保忠一

豊穡への感謝・祈りを込めて「二本松神社例大祭・二本松の提灯祭り」が十月四日～六日に斎行されます。敬神の念と郷土への絆、誇りが長い年月をかけて提灯祭りを守ってきました。今年「東日本大震災復興」を祈願し、各町内・若連の意気を示して、華麗な祭り囃子や笛と太鼓の響き、夜空に浮かぶ幾千の紅提灯で街中を感激の渦を巻きこみ太鼓台を引き廻されることを願っております。

第五十七回「二本松の菊人形」について、震災により開催が危ぶまれましたが、本市の伝統文化を守り、観光振興のため、十月十五日から十一月十三日まで入場無料で開催いたします。

会場構成は、「二本松菊花品評大会」と歴代大河ドラマの主人公の菊人形展示、「二本松少年隊」を菊人形によって飾ります。「霞ヶ城公園紅葉まつり」を開催し、色鮮やかな紅葉を楽しんでいただきます。

く事といたします。多くの皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。

さて、東日本大震災が発生し、半年が過ぎました。今も、原発による放射能の漏洩が続いておりますが、一刻も早い事態の収束を願っております。

「東日本大震災・原発放射能被害対策二本松市民総決起大会」を開催しました。大会では、多くの方から、子どもの健康、将来、農業をはじめ商工業、観光への影響、必死に守っている状況を話していただきました。「市民の皆さん一人ひとりをしっかり守っていかねばならない」と決意を新たにいたしました。

原発事故は天災ではなく人災であります。農業、商工業、観光等、被った損害を東京電力・国が責任を持って賠償する事。放射性物質の除染、中間貯蔵施設、最終処分場の設置。子どもや市民の健康対策。

また、市民のみならずが見えない放射能の恐怖に怯えながら生活を余儀なくされております。精神的苦痛や一時避難も含め、市民一人ひとりに東京電力・国が責任をもって損害賠償、補償することを求めてまいります。

広報9月号で、親と子で考える放射線学習会の二本松地域の会場を「二本松保健センター」とお知らせしていましたが、「二本松福祉センター」に会場が変更となりましたのでご注意のうえお申し込みください。